

人生は化学式。

1話・ハードディスクな再会



「ガラガラッ……ドン！ガシャン！」

ボクが彼女と再会、いや衝突したのは大学一年の冬、寝坊した授業に向かい廊下を走っていた時だった。

「イタタタ、あ！す、すいません。だ……大丈夫ですか？」

ボクは扉を開けて廊下に出てくる彼女に全く気づかず、思いつきりぶつかり、彼女は持っていたパソコンを落としてしまった。

「だ、大丈夫です。技術的には何も問題ありませんので」

「え？」

彼女は少しズレたメガネを指で上げ、パソコンを拾い、続けた。

「ご存知ないかもしれませんが、最近ハードディスクの大容量化が実現されたことにより、データ類すべて

クラウドに残すことが多く、私も大切なデータは、そちらに残しておりますので、お気になさらずに

「あれ？その声……もしかしてキミは……」

「え？……あつ！」

そこにいたのは高校時代、こつ然と学校から姿を消した初恋の子だった。少し大人になっていた彼女の姿に、しまい込んでいた記憶は一気に甦りボクの心はハードに動揺しはじめていた。

化学のチカラで夢を具体化。

SHOWA
DENKO

www.sdk.co.jp

具体化。